



# 社会から信頼される 健全な経営体制の維持

## 基本的な考え方

当社は、経営の透明性を高め、監督機能と意思決定の迅速化をはかり、コンプライアンスを確保することを、コーポレート・ガバナンス上の最重要課題と位置づけており、コーポレート・ガバナンス体制の強化・充実を推進することにより、企業価値の向上を目指しています。

## コーポレート・ガバナンス体制

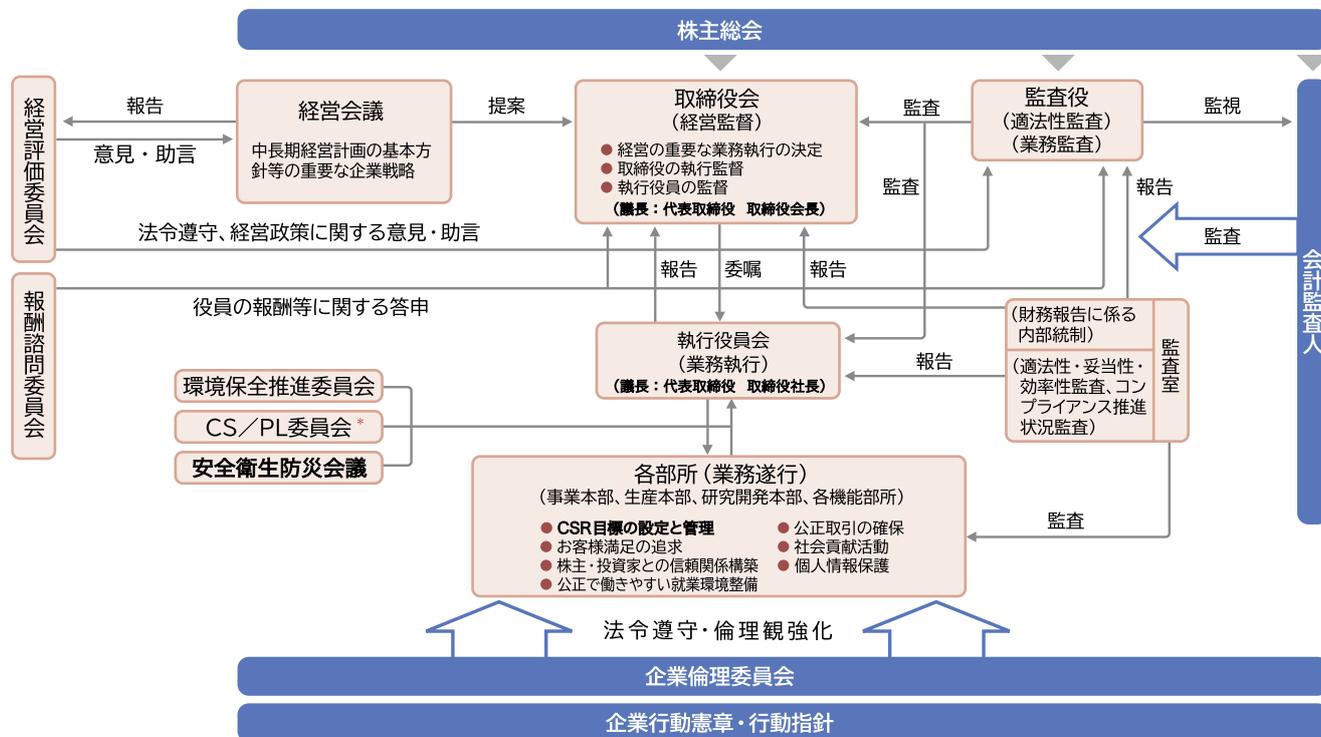
### 経営の監査・監視機能を充実させる取り組み

当社は、企業が果たすべき社会的責任、ステークホルダーからの信頼など社会通念上の視点から経営を客観的に評価するため、2003年10月に社外有識者で構成する「経営評価委員会」を設置し、コーポレート・ガバナンス体制のあり方、事業開発・製品開発の方向性などに関する委員の意見を経営に反映させています。2004年3月に執行役員制を導入し、2006年3月に社外取締役を2名招聘し

経営の機動性の向上と取締役会の監査機能の強化をはかっています。また、同年12月に社外取締役、社外監査役のみで構成する「報酬諮問委員会」を設置し役員報酬の客観性および透明性を高めるとともに、独立性の高い社外役員を選任するため、「社外役員の独立性に係る基準」を2013年1月に定めています。

[社外役員の独立性に係る基準] URL <http://www.lion.co.jp/ja/company/about/pdf/independence.pdf>

### ✳ コーポレート・ガバナンス体制



[コーポレート・ガバナンスに関する報告書] URL [http://www.lion.co.jp/ja/company/about/pdf/abo\\_gov.pdf](http://www.lion.co.jp/ja/company/about/pdf/abo_gov.pdf)

#### \* CS / PL 委員会

CS Customer Satisfaction(お客様満足)

PL Product Liability(製造物責任)

品質保証活動を推進するための部所横断型の委員会。

## リスクマネジメントの推進

### 事業を行う上でのさまざまなリスクに対応する仕組みの整備

当社では、お客様に対して、安心・安全な製品を継続して提供するために、リスク統括担当役員を任命し、当社グループ全体のリスクを網羅的、総括的に管理しています。環境、品質責任、事故・災害に関するリスクについては各種会議体を通じて対応策を検討し、必要に応じて執行役員会で審議しています。天災・事故発生などによる物理的緊急事態が発生した場合は、緊急事態処理システムに従い、発生事実を社長、監査役などへ報告するとともに、対応状況について執行役員会・取締役会へ報告しています。

#### ❖ 事業継続計画（BCP）の強化

当社は大地震や感染症の蔓延（パンデミック）などが発生した場合でも、お客様に商品をお届けできるよう、被害を最小化し早期復旧を果たせるよう原材料調達、生産物流体制の強化を進めています。また、常に経営環境に適した強力なBCPを機能させるために、経営企画部が主体となり、毎年執行役員会でBCPの確認と見直しを実施しています。

2014年には基本方針、優先事業、重点業務などを示した「BCP要綱」を策定し、イントラネットや社内報などで告知社内へのBCPの周知を進めました。

## 内部統制システムの整備

### 業務の適正を監査する仕組みの強化

当社は、会社法および会社法施行規則に基づき、当社グループ各社の業務の適正を確保するための体制を整備しています。

また、金融商品取引法に基づく「財務報告に係る内部統制の評価および監査制度」については、全社レベル・業務プロセスレベルの統制の整備を行っています。

内部統制の有効性に関する評価は監査室が行い、結果を取締役社長および監査役に報告するとともに、取締役会でも定期的に報告しています。

#### ❖ 内部監査

社長直轄の監査室が、健全な業務活動基盤の確立に向けて、各部所の業務について、適法性、妥当性、効率性、リスクマネジメントの視点から監査を行っています。

監査の点検・指摘結果については、社長への報告と、執行役員会にて年2回、監査結果を総括して報告することで、監査業務のPDCA管理と、業務執行部門との情報の共有化をはかっています。

## 国連グローバル・コンパクト

当社が2009年から参加する国連グローバル・コンパクト（UNGC）は、「人権の保護」、「不当な労働の排除」、「環境への対応」、そして「腐敗の防止」の4つの領域に関わる10の原則の実現を目指す企業・団体の自発的な取り組みです。グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）にも加入し、参加企業のCSR活動推進を目的とした分科会活動にも定期的に参加しています。

【国連グローバル・コンパクト】URL <https://www.unglobalcompact.org/>

【グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン】URL <http://ungcjin.org/>



コンプライアンスの浸透

法令遵守・倫理観強化への取り組み

当社グループでは、企業倫理担当役員を委員長とする企業倫理委員会のもとで、コンプライアンス意識の啓発を積極的に行っています。コンプライアンスの基盤となる「ライオン企業行動憲章\*1」は、当社グループの全従業員に冊子で配付し、ホームページ上で社外にも公開しています。また、毎年のプログラムに沿って、e-ラーニングなどの教育を定期的実施しています。

2014年に実施したe-ラーニングでは、「ライオン企業行動憲章」の閲読と同意に加えて、薬事教育、就労管理の基礎、ソーシャルメディアのリスク、情報セキュリティについて学習しました。

❖ コンプライアンス意識調査アンケート\*2

当社は、グループ全従業員を対象に毎年、「コンプライアンス意識調査アンケート」を実施しており、今回で11回目となります。アンケート結果を経営層に報告するとともに各職場へフィードバックし、コンプライアンス体制の維持・強化につなげています。

2014年度のアンケート（対象約3,932名の約97%の従業員が回答）では、職場環境の問題などの意見が寄せられました。

❖ ホットラインの周知

当社は、社内・社外の通報制度「AL（オールライオン）心のホットライン」を設置し、派遣社員を含む全従業員への周知をはかっています。

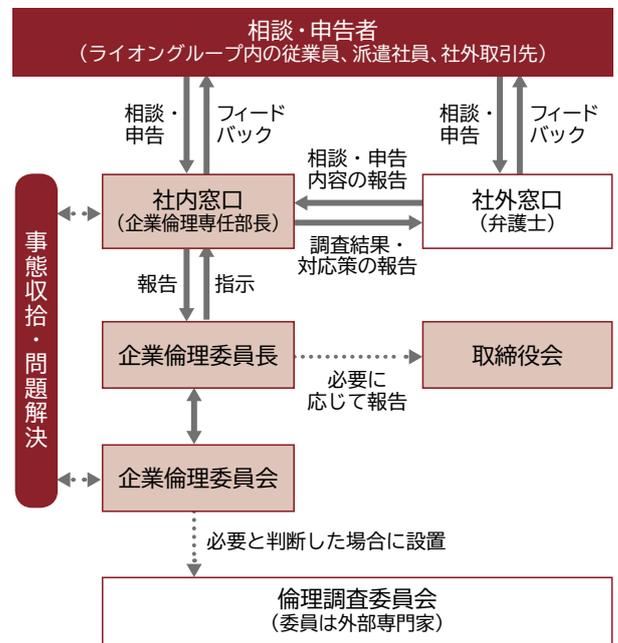
2014年は12件の相談・通報がありましたが、重大な不正行為と判断される事案はなく、すべての事案に適切に対応し、收拾しました。

[AL心のホットライン]

URL <http://www.lion.co.jp/ja/company/compliance/index.php>

**Webサイトのご紹介**  
 活動を推進する仕組み(組織統治)  
<http://www.lion.co.jp/ja/csr/management/>

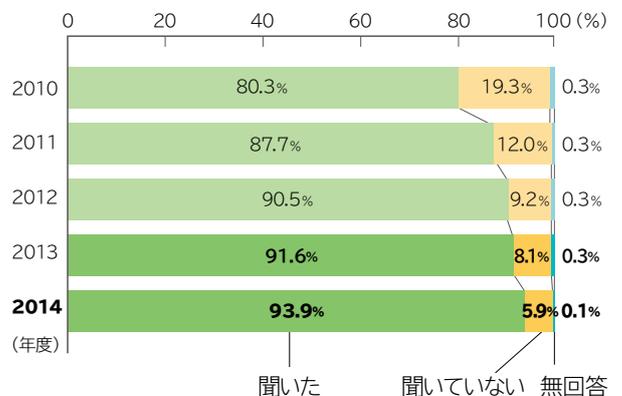
❖ 「AL心のホットライン」の仕組み



❖ 「AL心のホットライン」への相談・通報内容(2014年)

ハラスメント的行為	5件
人事・労務管理上の問題	4件
経費・会社資産の管理の問題	1件
その他	2件

❖ アンケート結果のフィードバックを聞いた従業員の割合



\*1 ライオン企業行動憲章の10原則

- 1. 基本的使命
- 2. 社会規範の遵守
- 3. 情報開示
- 4. 環境対応
- 5. 就業環境の整備
- 6. 社会貢献
- 7. 反社会的勢力との対決
- 8. 海外での貢献
- 9. 企業倫理の徹底
- 10. 問題解決

\*2 コンプライアンス意識調査アンケート

ライオン企業行動憲章の遵守状況、前年のコンプライアンス意識調査結果に対するフィードバックの有無、ホットラインの認知などを無記名で回答するアンケート。